若宮賞表彰式

（公財）やまなし環境財団では、県内各地で優れた環境保全活動を継続して行っている団体や個人を「若宮賞」として表彰します。この賞は、県民の皆さんの自主的な環境保全活動を大きく育て、その取り組みを広く紹介することを目的に定めたもので、「若宮賞」という名称は、本財団の設立に多大なご協力をいただきました　故　若宮きよの様のお名前を記念したものです。

今回、受賞されましたのは、東海大学付属甲府高等学校自然科学同好会と八ヶ岳野鳥クラブの２団体です。

【東海大学付属甲府高等学校自然科学同好会】

NPO法人「未来の荒川をつくる会」と協力し河川清掃を行い、地域の環境美化に貢献されています。また、全校生徒に河川のゴミの現状や生態系について周知するなど環境保全に対する普及啓発活動も行っています。



【八ヶ岳野鳥クラブ】

八ヶ岳南麓で野鳥観察・調査を行い、豊かな自然環境を次世代に残すため、市民対象の自然観察会を開催しています。自然環境を守る大切さを伝え、環境保全に対する意識向上に寄与されています。



きれい甲斐

No.100　MARCH　2024

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県自然共生推進課内
TEL.055-223-1634　FAX.055-223-1781　✉ shizen@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ　パートナーシップやまなし　検索
発行責任者●企画委員長　志　村　宏　司

R70　古紙配合率70%再生紙を使用しています

やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムを開催しました

環境パートナーシップやまなしでは２月１８日（日）に「第２５回やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を（公財）やまなし環境財団と共催で開催しました。

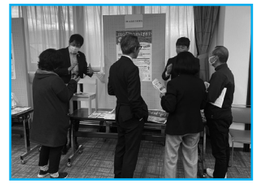
昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催としましたが、今回のフォーラムは、平成３０年度以来、５年ぶりの対面での開催となりました。

当日は約７０名の方にご参加いただき、午後２時１５分から午後４時２５分まで環境保全に向けた取り組みについて活発な情報交換が行われました。

今回のフォーラムの様子をご紹介します。







開会挨拶

主催者を代表して、環境パートナーシップやまなしの坂本政彦会長と（公財）やまなし環境財団の関尚史理事長から挨拶がありました。

環境パートナーシップやまなし

坂本　政彦　会長



環境パートナーシップやまなしは、県内で環境保全活動に取り組んでいる個人、団体、企業の交流とネットワークづくりを支援し、地域に根ざした実践的な環境保全活動を県民運動として広めていくことを目的に活動しています。

このフォーラムを機に、環境活動のネットワークがさらに広がり、新たな取り組みの一歩につながることを期待しています。

（公財）やまなし環境財団

関　尚史　理事長



今回で２５回目のフォーラムを迎え、長く実施できるのも皆様のご協力のおかげであることを感謝します。このフォーラムを通じて、情報交換やネットワーク形成を積極的に行っていただき、環境保全活動の更なる推進が図られることを期待しています。

「ポスターセッション」が開催されました

県内で環境保全に取り組む団体・企業・学生・行政が活動をまとめて作成したポスターの発表を行い、その後、参加者と交流するポスターセッションを実施しました。（公財）やまなし環境財団の鳥屋尾健運営委員にコーディネーターを務めていただき、交流の時間では、発表者と参加者相互の活発な情報交換が行われました。

発表者として、ご参加いただいた若宮賞受賞団体、助成金交付団体、企業、行政の8団体の皆様を発表順にご紹介いたします。



子どもたちへ残せるものは？

都留市市民部地域環境課
環境政策室長 鈴木 裕二 氏

都留市では、不法投棄による河川ごみを回収するために除塵機を3基設置し、R4年度は合計4,604.5kgと想定以上のごみの回収となりました。また、委嘱市民による「美化推進指導員」と協力した環境保全活動を行っています。

環境教育では、「エコ探検隊つる」と題し、環境イベントを実施しています。子どもたちに現状と対策を知ってもらい、家族へ話をしてもらうことで全年齢層への周知・啓発を図っています。



命を無駄にしない「いかす」

東海大学付属甲府高等学校
自然科学同好会 佐野 生馬 氏

自然科学同好会では、「自然を愛し、楽しく学ぶ」を活動理念に、清掃活動・生態調査・標本作成・外来種駆除などを行っています。

外来種駆除では、駆除した命を無駄にしないよう①学びに「いかす」、②啓蒙に「いかす」、③在来種の生態系を「いかす」3つの「いかす」を基本として駆除に取り組んでいます。

これらの活動を行うことで、自然環境を守り、地域に貢献していきます。



世代や地域を超えた居場所づくり

蓬沢いきいきサロン
代表 猪狩 理沙 氏

蓬沢いきいきサロンでは、年齢や地域に関係なく誰もが楽しく交流ができる居場所をつくるため、地域サロンやイベントを開催しています。その中で、不用となった包装紙などを使ったエコ工作やウォーキングをしながらのごみ拾い、家庭であまった食材を持ち寄ってのフードロスパーティーなどを行っています。

今後は、楽しみながら健康になれる、環境について学べる、そして地域が活性化することを目標に取り組みを行っていきます。



東京電力パワーグリッドの環境に関する取り組み

東京電力パワーグリッド（株）山梨総支社
平井 万里 氏

東京電力パワーグリッドでは、「カーボンニュートラル」や「防災」を軸とした安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

カーボンニュートラルでは、CO2を出さないEV（電気自動車）で観光地をめぐるなど、人と資源の循環モデルの実現に向け、甲斐市と連携し取り組んでいます。

防災では、EVは災害時に、動く蓄電池として電源活用できることを知ってもらうため、イベントなどでEVの普及推進活動を行っています。

甲州市では、「未来につなぐ果樹園交流のまちゼロカーボンシティ」を目指す取り組みとして、次代を担う子どもたちの環境教育を推進しています。小学生に、ごみの現状やごみの減量・分別の仕方を学ぶ出前授業、また川に親しみ水辺に触れ合える環境づくり啓発のための河川美化図画コンクール・環境学習イベントを実施しています。

市民・事業者・行政が一体となって取り組み、良好な環境の保全と創造に向け、様々な施策を進めていきます。



ゼロカーボンシティを目指したアクション

甲州市環境課
課長補佐　土屋 典子 氏

八ヶ岳野鳥クラブでは、自然を大切にする心を育てることを目的に野鳥の調査や市民対象の自然観察会を実施しています。

野鳥の調査では、毎月1回、16年間継続した調査により、鳥の種類や数などが少しずつ明らかとなりました。

自然観察会では、北杜市の自然のすばらしさを紹介することで、自分たちが暮らす地域の自然を知っていただき、地域を守ることにつながるよう、14年間継続して開催しています。



自然を大切に

八ヶ岳野鳥クラブ
代表　竹内 時男 氏

多摩源流こすげでは、2021年度より水源の森再生プロジェクトの活動を始めました。

この取り組みは、かつての「山と向き合いながら行う土木造作」をもう一度甦らせ、荒廃した針葉樹人工林を整備しており、多世代、多様な種の樹木が入り混じる針広混交林に変化させて、低下した水源涵養機能を回復させることを目標としています。

この活動は、1年2年で終わるものではないため、継続して活動を行っていくことを目指しています。



水源の森再生プロジェクト

NPO法人多摩源流こすげ
事務局長　石坂 真悟 氏

山梨日日新聞社では、創刊150年を機に地域貢献のため、森林の荒廃が進んでいる山梨県で何かできないかと、森林の持続的な活用を目指す「moritomirai」の取り組みを始めました。

新聞などで情報発信を行うだけでなく、森林に興味を持ってもらうためカードゲームを制作し、子どもから大人まで楽しみながら体験していただいています。

また、山梨県産のヒノキを使った家具の販売を行い、森林資源循環の必要性をお伝えしています。



moritomirai （モリトミライ）

（株）山梨日日新聞社
副部長 三井 将也 氏

「ポスターセッションの最後には、（公財）やまなし環境財団の箕浦一也運営委員長から、「発表者の皆様からの熱意のある発表がとても刺激となった。またコロナの間ではできなかった対面での交流によりそれぞれの思いが伝わり、ネットワークが広がり、今後の活動を強くしていくきっかけとなった」との感想をいただきました。